

処理対象人口と処理槽の構成

JARUS - S₉₆型の処理対象人口は51人から400人までですが、処理槽の構成は人口規模に応じ次のとおりです。

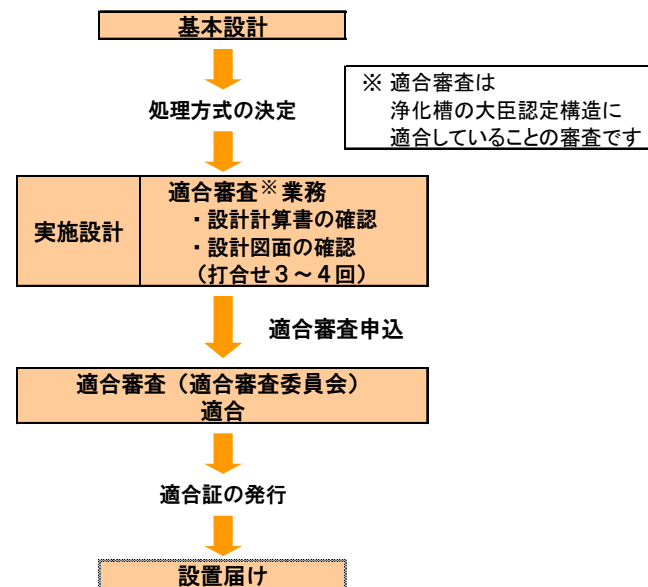
処理対象人口	系列	接触ばっ気槽	沈殿槽	処理対象人口（人）		
				50	200	400
51人 ～ 200人	1系列	1槽で2室直列	1または2槽	○————●		
201人 ～ 400人	2系列	2槽でそれぞれ2室直列	2または4槽	○————●		

JARUS型施設の利点と設計の進め方

■JARUS型施設による4つの利点！

- 1 多様な処理システムを開発しています。
 - ・各種の処理方式の中から地域特性に見合った処理方式が選択できます。
- 2 設計指針の整備により合理的な設計を行います。
 - ・設計指針の整備により、施設設計の簡素化や合理化が図れます。
- 3 高い維持管理性を確保したものです。
 - ・設備や単装置の基準化により、維持管理業務の標準化を通じて高い維持管理性を確保します。
 - ・維持管理マニュアルを整備し、適正な維持管理が図れます。
- 4 工事発注等に際し、公平性を確保します。
 - ・JARUS型施設は、設計者及び施工者を特定していません。
 - ・施設に用いる機器類は、汎用品の採用に努めています。
 - ・使用する主要機器は、汎用化した図面等によるものとし、設計者及び施工者等を制限しません。

■JARUS型施設に係る設計の進め方



〒105-0004
 東京都港区新橋五丁目34番4号
 電話 (03) 3432-5295 (代)
 FAX (03) 3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>

表紙の写真は、「私の好きな日本の農村」フォトコンテスト入賞・入選作品から選定しました。

2014.7

JARUS - S₉₆型

JARUS型施設の手引



一般社団法人 地域環境資源センター

JARUS - S₉₆型とは……農村向けのシンプルなFRP構造の小型処理施設です。

JARUS - S₉₆型の特徴

・処理対象人口 51～400 人の小規模な地区に適した汚水処理施設として開発しました。

・処理対象人口及び計画処理水質は次のとおりです。

処理対象人口	計画処理水質 (mg/L)	
	BOD	SS
51人以上 400人以下	20以下	50以下

・建築基準法に基づき、尿尿浄化槽の構造基準の規定と同等以上の性能を有する施設として国土交通大臣の認定を取得しています。

・コンクリート躯体の JARUS- I 型を FRP 製として経済性と施工性の向上を図ったものです。

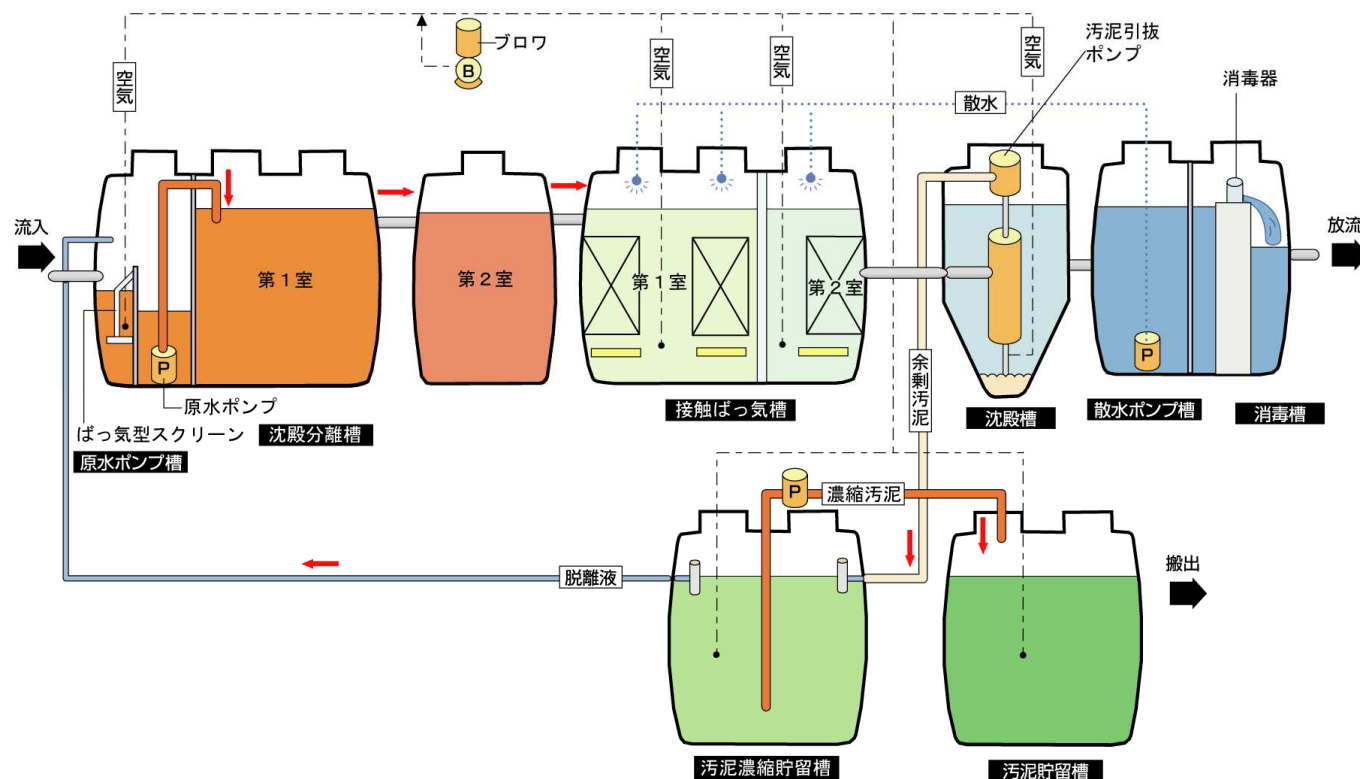
・維持管理と農地還元等を考慮し前処理施設と汚泥濃縮貯留槽を設けるなど施設に求められている機能を満足しています。

・FRPの構造基準と品質管理基準を定めるなど公共施設にふさわしい耐久性等を考慮しています。

処理方式とフローシート

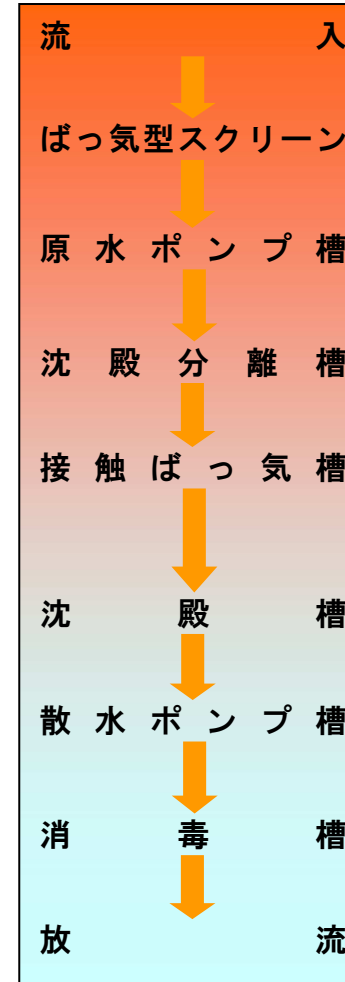
■処理方式 沈殿分離及び接触ばっ気を組み合わせた方式 (FRP製)

■フローシート



※原水ポンプ槽、散水ポンプ槽及び汚泥貯留槽は必要に応じて設置します。

処理工程の説明



- ・汚水中の夾雑物等を除去し、原水ポンプの破損及び後段の処理槽等の機能低下を防止します。
- ・沈殿分離槽へ汚水を移送します。ただし、流入管底が浅く自然流下により沈殿分離槽に移送させることができる場合は不要となります。
- ・汚水中の固形物を沈殿させて固液分離を行い、次の接触ばっ気槽への流入負荷の安定化を図ります。
- ・槽内に接触材を充填するとともに、槽の底部に散気装置を設置して空気を供給し、沈殿分離槽からの流出水を接触材表面の生物膜と接触させ好気的な状態で浄化します。
- ・接触ばっ気槽から移流した生物膜等の SS を沈降させて固液分離を行い、清澄な処理水を得ます。
- ・点検のため、接触ばっ気槽内の開孔部付近に発生した泡を消すのに使用する処理水を一時貯留します。
- ・塩素剤により、処理水の消毒を行います。

汚泥濃縮貯留槽

- ・引抜汚泥を濃縮貯留します。

汚泥貯留槽

- ・濃縮汚泥を搬出するまで貯留します。

■JARUS - S₉₆型の平面形状 (例)

